



2023年4月5日

## 「女王エリザベス2世記念コイン ～輝かしい生涯と功績を称えて～」

### 予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取：生田 雅彦）は、「女王エリザベス2世記念コイン ～輝かしい生涯と功績を称えて～」の予約販売を4月10日（月）より開始しますのでお知らせいたします。

女王エリザベス2世の英国史上最長君主としての輝かしい功績を表現したデザインに加え、表面には新国王チャールズ3世の肖像が初めて刻まれる、歴史的な記念コインとなります。

各時代の女王の記念コインを手掛けてきた英国王立造幣局が製造するコインは、金貨4種類と銀貨3種セットのラインナップとなっており、下記の通り予約販売を開始いたします。

#### 記

#### 1. 販売概要

	種類	販売価格	数量	
A	100ポンド金貨	792,000円	限定	350枚
B	25ポンド金貨	209,000円	限定	450枚
C	5ポンド金貨	858,000円	限定	250枚
D	50ペンス金貨	363,000円	限定	150枚
E	銀貨3種セット	63,800円	限定	1,000セット

※いずれも税込価格です。

※各商品特製ケースと発行証明書を付けてお渡しいたします。

#### 2. 予約販売受付期間

2023年4月10日（月）～ 4月28日（金）

※数量限定のため、受付期間中であっても販売予定数量に達した場合は、販売を締め切らせていただきます。

#### 3. お引渡し予定日

2023年6月6日（火）以降

#### 4. 販売窓口

当行全営業店（つくばのガマぐち支店（インターネット専業支店）は除きます。）

以上

報道機関のお問合せ先  
筑波銀行 総合企画部広報室  
TEL 029-859-8111



THE ROYAL MINT™  
THE ORIGINAL MAKER



Her Majesty Queen Elizabeth II Memorial Coin Collection featuring The First Official Effigy of King Charles III

## 商品の一覧

### A. 100ポンド金貨

792,000円(税込) 限定350枚

品位:99.99% 重量:31.21g 直径:32.69mm 状態:プルーフ



### B. 25ポンド金貨

209,000円(税込) 限定450枚

品位:99.99% 重量:7.80g 直径:22.00mm 状態:プルーフ



### C. 5ポンド金貨

858,000円(税込) 限定250枚

品位:91.67% 重量:39.94g 直径:38.61mm 状態:プルーフ



### D. 50ペンス金貨

363,000円(税込) 限定150枚

品位:91.67% 重量:15.50g 直径:27.30mm 状態:プルーフ



### E. 銀貨3種セット

63,800円(税込) 限定1,000セット

①2ポンド銀貨(品位:99.9% 重量:31.21g 直径:38.61mm 状態:プルーフ)

②5ポンド銀貨(品位:92.5% 重量:28.28g 直径:38.61mm 状態:プルーフ)

③50ペンス銀貨(品位:92.5% 重量:8.00g 直径:27.30mm 状態:プルーフ)





THE ROYAL MINT<sup>®</sup>  
THE ORIGINAL MAKER



Her Majesty Queen Elizabeth II Memorial Coin Collection featuring The First Official Effigy of King Charles III

## デザインと解説

### 表面共通

新国王チャールズ3世の肖像が描かれた初の記念コイン。デザインを担当したのは、作家や詩人など人物のパブリックアートの彫刻を長年手掛けている彫刻家マーティン・ジェニングス氏で、肖像画は国王自らによって承認されました。横顔は前国王(エリザベス2世)とは逆の左向きで描かれており、これは1660年から続く“次代は先代の逆を向く”という慣習によるものです。周囲には、額面、発行年、「CHARLES III・D・G・REX・F・D」(Dei Gratia Rex Fidei Defensor: 神の恩寵による王、信仰の守護者の略)と刻まれています。



### 100ポンド金貨/25ポンド金貨/2ポンド銀貨

気品に満ちた女王の横顔を英国国花のバラとともに優美に表現しています。デザインを手掛けたのは、英国王立造幣局の代表的アーティストの一人であるジョン・バークダール氏。同氏は、ご成婚70周年(プラチナ・ウエディング)、在位70周年(プラチナ・ジュビリー)といった近年の女王の記念コインを多く手掛けています。周囲には「ELIZABETH REGINA」と生没年「1926-2022」が刻まれています。



### 5ポンド金貨/5ポンド銀貨

若き日と晩年の女王エリザベス2世の肖像が向い合うように描かれ、70年に及ぶ在位の長さが表現されています。上部には、バッキンガム宮殿に展示されており、戴冠式でも使われる王室祭具「聖エドワード王冠」、下部にはエリザベス2世のシンボル文字(ロイヤル・サイファ)である「EIIR」、その周囲には「ELIZABETH REGINA」と生没年「1926-2022」が刻まれています。額面が5ポンドのコインは「クラウン」とも呼ばれ、英国王室などの国家的に重要な特別行事を記念して発行されています。



### 50ペンス金貨/50ペンス銀貨

1953年、当時27歳のエリザベス2世の戴冠式を記念して発行されたコインの復刻デザイン。英国を構成する3カ国の紋章(左上と右下: イングランド王室、右上: スコットランド、左下: 北アイルランド)と、4カ国の国花(上から時計回り: イングランドのチューダーローズ、北アイルランドのシャムロック、ウェールズのリーキ、スコットランドのアザミ)、中央には戴冠式で女王が被った3,174個の宝石が散りばめられた王冠が描かれています。七角形という特殊な形は、同じ程度の大きさのコインと見た目や手触りで容易に区別つくように採用されました。



### 英国の伝統が息づく“ピンクゴールド”金貨

「5ポンド金貨」と「50ペンス金貨」は、品位が91.67%の22金。そのピンク色の温かみのある優しい色合いは「ピンクゴールド」とも呼ばれ、英国では古くから発行されている伝統ある記念コインです。高品位な金本来の輝きはそのままに、他の金属を配合することで強度を高め、傷つきにくい堅牢さと、うっとりする美しさを兼ね備えています。





THE ROYAL MINT<sup>®</sup>  
THE ORIGINAL MAKER



Her Majesty Queen Elizabeth II Memorial Coin Collection featuring The First Official Effigy of King Charles III

(参考)

## コインとともに振り返る、女王エリザベス2世

英国の通常貨に描かれる君主の肖像の変更は稀なことですが、女王エリザベス2世の場合、1953年から2022年まで、時代を代表する5人のデザイナーによって5種類の肖像が描かれました。



1. 1953年:コイン初登場  
メアリー・ギリック作。新しい女王の時代を迎えた歓迎ムードを反映し、新鮮で心に訴えかける肖像が描かれました。ティアラをしていない唯一の肖像であり、10進法以前の貨幣に使用された最後の肖像でもありました。



2. 1968年:流通が開始  
アーノルド・マチン作。10進法による流通貨の発行を機に採用。リースの代わりに、祖母メアリー王妃から結婚祝いに授かったティアラが描かれました。同肖像は、調整版が英国の普通郵便切手にも使われました。



3. 1985~1997年  
ラファエル・マクルーフ作。この肖像は、女王が「英国議会開会式」参加時に王冠を着用した姿が描かれました。ティアラに加え、ネックレスとイヤリングも添えられました。



4. 1998~2015年  
イアン・ランクブロードリー作。女王の品位とリアリティを追求して表現されています。作者は、1990年代にコインのサイズが小さくなったことを意識し、外縁の枠内で肖像を極力大きく描いたと述べています。



5. 2015~2022年  
100年以上ぶりに造幣局の彫刻家であるジョディ・クラークによって手掛けられた、英国の通常貨を飾った女王最後のデザイン。微かな微笑で温かな人柄を伝え、長年親しんできた女王の姿が表現されています。

## 英国王立造幣局(ロイヤル・ミント)について

英国王立造幣局(The Royal Mint)は、1100年以上の歴史を刻む世界でも有数の造幣局で、現在では年間約50億枚のコインを鋳造しています。その起源は、ロンドンに複数あった小さな貨幣工場の一つとして886年に設立。その後1279年にロンドン塔内に造幣局として集約され、以後500年ここを拠点として英国の硬貨鋳造を一手に担うまでになります。この間、万有引力を発見したことで有名な学者アイザック・ニュートンが1694年に「造幣局監事」、1699年には「造幣局長官」に就任し、偽造防止のための精密かつ高硬度の鋳造技術の開発などに貢献しました。生産拡張のため19世紀にはタワー・ヒルに、1970年代にはロンドンを離れ現在の拠点であるウェールズ・ラントリサントに移転し現在に至ります。

女王エリザベス2世との関わりでは、1953年の戴冠式で初の肖像が描かれたのをはじめ、1977年の在位25周年(シルバー・ジュビリー)、2002年の在位50周年(ゴールド・ジュビリー)、2015年の英国最長在位、2017年のご成婚70周年(プラチナ・ウェディング)、2022年の在位70周年(プラチナ・ジュビリー)など、70年に及ぶ在位の節目節目で記念コインを発行しています。



THE ROYAL MINT<sup>®</sup>  
THE ORIGINAL MAKER